

本業支援を通じて津波被災地の農業復興をサポート

仙台市沿岸部の株式会社みちさき様は、東日本大震災の津波で被災した農地に大規模な野菜の水耕栽培を導入し、「農業の復興と変革」を目指すプロジェクトを進めています。

津波被害が甚大であり、農業が復興できるのか不安な面もありましたが、私は、菊地社長と何度も話をする中で、「被災地から日本の農業を変えたい」という熱い想いを受け止め、事業立ち上げを全面的にサポートしてきました。

現在、みちさき様では大型の栽培ハウスが完成して第一歩を歩みだされましたが、真価が問われるのはこれからです。当行も「本業支援」を通じて、様々な経営課題の解決をお手伝いし、被災地の農業復興に貢献していきたいと考えております。



プロフィール

仙台銀行 南小泉支店
(現 松陵支店)

今野 剛治 次長

渉外担当

休日の過ごし方

地元の少年野球チームのコーチとして子どもたちを指導しています。



取組み事例

東日本大震災の津波被害を受けた仙台市蒲生地区で、地元農業者が設立した株式会社みちさき様は、野菜類を生産する大規模養液栽培施設の建設を計画。仙台銀行は、日本政策金融公庫との協調融資や三菱商事復興支援財団への出資要請など、同社の事業立ち上げに際して全面的なサポートを行いました。



株式会社 みちさき
代表取締役
菊地 守 様

VOICE 喜びの声

東日本大震災により、仙台市蒲生地区では農地に壊滅的な被害を受けました。弊社は、「農業による復興のまちづくりを实践し、10年後、20年後の農業の道先案内人になること」を理念に設立し、大規模な養液栽培施設による野菜等の生産を開始いたしました。この施設では、年間を通じて安定した野菜供給を目指し、特色のある野菜づくりを行っていく計画です。

仙台銀行には、平成23年の事業構想段階からいち早く相談に乗っていただき、また、農業分野への理解度が高く、適切なアドバイスや資金提供を行っていただきました。

今後も地元金融機関として、弊社並びに地域農業の発展に協力していただきたいと願っております。